

三郷 議会だより

第250号

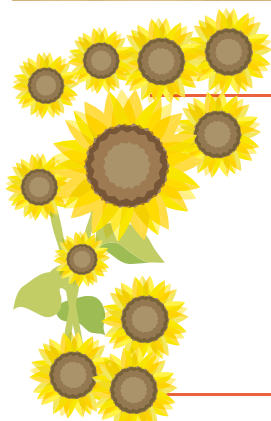
令和5年2月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会 / 広報編集委員会・議会事務局
電話 (0745) 73-2101 (内線 293) 直通 (0745) 43-7371



出初式

1月7日、中央公園にて消防団出初式があり3年ぶりの放水が披露されました。



主な内容

- ◆ 議会活性化について 2,3
- ◆ 一般質問 4~6
- ◆ 常任委員会の主な報告 6,7
- ◆ 審議結果 8



毎月11日は『人権を確かめあう日』です。



議員提案で定数を1名削減 次回の選挙から12人に



令和4年6月から「議員定数を含めた議会活性化」について、全議員による協議を合計9回行い、議員定数に関する議論は出尽くしたとして、12月の定例会において「議員定数を1名削減する」旨の条例改正案が提出されました。それに対して、反対意見があり、慎重に議論を重ねた結果、本会議において賛成9名反対3名（議長は採決に加わらない）の賛成多数で原案可決となりました。

その後、動議による決議（次ページ下段）が提出され、改革・活性化のため引き続き議論を進める決議を、全会一致で原案可決されました。

当議会は、今後も議員自らの資質をさらに高め、民意を効果的に反映させることを基本として努力する所存です。みなさまの温かいご理解とご協力をお願いします。



反対意見

討論

賛成意見

「自治体における民主主義の実現にとって、議員定数の一方的な削減は問題であり、他自治体(近隣自治体等)との比較による定数減の負の連鎖となる可能性がある。議会では多様な民意を的確に反映するため必要な定数が求められ、議会としての機能が果たせるか否かといった観点での議論が必要である。また、討議の際、人数の少なさのために少数意見を出しにくいという課題もあり、討議が可能な人数を確保してこそ論議が展開するというものである。さらに、議長は議会を運営する立場であるが、可否同数となった場合に、1議員としての賛否を明確にすることから、定数は奇数と想定しておく必要がある。また、将来、多くの人が立候補しやすい条件として考え、遅くとも1年以上の十分な周知期間が必要である。」以上の(※1)最終報告等のこの指摘・見解に賛同するため反対です。

議論を重ねる中、以前より町民から議員定数を減らすべきとのご要望を聞いていることが明らかになりました。近隣自治体の動向も踏まえ、民意を反映させる責務を果たすべきと考えます。かつて、当議会は実質12名で運営されていた実績があることから、定数13を維持しなければ町民の負託に応えられないという根拠はありません。また、この先議員のなり手不足により無投票選挙になる可能性もあります。有権者の審判なく立候補者が全員当選となれば、民意を可視化することができないことから議員の質が低下し、町民の町政への関心も低下、一層のなり手不足に拍車をかけることでしょう。

よって、多様な町民と意思疎通を図り、開かれた魅力ある議会であるべく、ICT技術を活用した効率的な議会運営の実現に向け、更なる議会改革を継続することが必要と考えます。今まで以上に町民のために働く覚悟をもって賛成します。

※1 全国町村議会議長会「町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告」、
「議員報酬・政務活動費の充実にに向けた論点と手続き」

三郷町議会の改革・活性化の推進に関する決議

(※2)



議員定数削減という住民の要望に応えることは議会の使命であるものの、一方で、議会が役割を十分に果たすためには、その議員の構成についても多様性や充実した討議が行える人数を確保することも重要である。その両立をはかるため、12という新しい議員定数が適正であると住民の理解と納得が得られ、議会が果たす役割を住民に実感してもらうために、以下について推進する。

1. 決議を契機に議会改革特別委員会等を設け、2年間で集中的に次の項目について議論を行い、その結論を得ることとする
 - ①議案審議方法の改善
 - ②議会基本条例の制定
 - ③議会中継等を含めたインターネットの活用
 - ④「議会だより」の充実
 - ⑤議場の改革
 1. その後も議会基本条例を、定期的に見直しを行うことで、議会力を高める努力を継続し、開かれた議会であり続けること。
- 以上、決議する。

三郷町議会



※2 決議の概要を掲載しています。全文についてはホームページでご確認ください。



食品ロス削減のさらなる取り組みについて

〈高田 好子 議員〉

掲載しております一般質問は、通告書による質問に対して1回目の回答の要旨を掲載しています。

再質問やそれらに係る回答、また掲載以外の質問などについては、会議録に詳しく掲載します。

会議録は議会事務局、町立図書館、町のホームページにおいて閲覧できますが、発行時期など詳しくは議会事務局にお問い合わせください。



これまでの取り組みと「食品ロス削減推進計画」の策定について。普及啓発として、園児や小学生のポスター作成などで家庭へ波及させることも併せて検討してはどうか。



本町では社会福祉協議会と35こども食堂ボランティア連絡会が中心となり、フードドライブ&フードパントリーを行っています。これは寄付された未開封の食品や未使用の日用品を、必要な方に無償で譲渡する取り組みで、定期的に開催する予定です。また、給食センター

では記録した給食残食量を献立に反映し、残食抑制を図るほか、残食や調理の際に出る残菜を液肥として住民の皆様へ提供しています。さらに西部保育園では、独自に生ごみ処理機を導入し、清掃センターでは、信貴山地区の一般家庭約140世帯と13の事業所の協力を得て、生ごみ資源化モデル事業に取り組んでいます。

普及啓発活動については、ゴミ減量ニュースで「食品ロス削減」「生ごみ減量」について、広報10月号で食品ロスを特集しました。子ども達による啓発ポスターの制作も、学校と協力し進めていきたいと考えます。

そして、食品ロス削減推進計画の策定は、来年度改訂される一般廃棄物処理基本計画の中で対応できればと考えています。

予約制乗合タクシーの運用の見直しを

〈神崎 静代 議員〉



住民のニーズが多様化してるため、日曜祝日運行の実施や料金の値下げ、王寺駅南側への降車場所設置などを含め運用の見直し検討を。また使い方について、時々周知してほしい。



平成23年12月の実証運行から11年が経過し、予約制乗合タクシーは住民の皆様にとって、なくてはならない公共交通として定着しています。

さて、運賃の値下げについては、バス路線や鉄道の利用に影響を与える可能性があるため、また王寺駅南側への乗降場の設置については、タクシー事業者への影響や路線バスの停車スペースなどの関係のため、考えていません。その他の意見については参考にさせていただきます。将来的には、出発地から目的地までをひとつのサービスとして提供できるMaaS(マース)を取り入れて、他の交通機関、たとえば電車の時刻表と連動させることなどにより、住民の皆様の更なる利便性の向上につなげたいと考えます。

また、多くの方々に利用方法を理解いただけるよう定期的に広報などを活用し、誰もが使いやすい予約制乗合タクシーを目指してまいります。

※MaaS・・・Mobility as a Service

「三郷町にもパートナーシップ宣言制度の導入を」

〈南 真紀 議員〉



パートナーシップ宣言制度を導入する自治体が増加している。
当町もLGBTQなど多様な人権を認めて「誰一人取り残さない」まちづくりのために導入するべきでは。



パートナーシップ宣言制度は婚姻制度と異なり法的な拘束力がないため、本来は国が法整備を進めるべきと考えます。しかし、本町は全世代・全員活躍型生涯活躍のまちの実現を掲げており、自分らしさを表に出して、生き生きと生活し、住み続けられるまちを目指すことがSDGs未来都市に選ばれた使命だと考えています。

さらに、年齢や性別、障がいの有無に関係なく、多様な人が共に支え合い共生していく「インクルーシブシティさんごう」の実現を目指しています。

このことから、地方自治体でのこの制度の広まりによって、社会の意識が変わり始めているという機運を生み出し、さらに性的マイノリティの人権保障への議論の高まりに繋がると捉え、本町にふさわしい同制度の導入に向け検討していきます。



学校を含む公共施設にマイボトル用給水機の設置を。

〈辰己 圭一 議員〉



プラスチックごみ削減を目指したマイボトル利用の取り組みが全国的に広がっている。
海洋汚染問題やCO₂排出削減のためにも、すぐできることとして、いつでも誰でも給水できる専用給水機を設置するのはどうか。



本町では、ごみの減量化や資源化に向け、ペットボトルについても就労支援を通じて最終的にリサイクル製品化するなど、さまざまな取り組みを実施してきました。今後も積極的に取り組んでいきますが、ごみの量自体を減らすことに今後は注力するべきと捉えています。

そこで、若手職員で構成するプロジェクトチームが、あらゆるごみの減量に向け新しい取り組みを検討する中、給水機の設置が「みんなで持ち歩こうマイボトル普及事業」として発案されました。小中学校をはじめ公共施設にウォーターサーバーを設置すべく、現在事業化に向け調整中です。

以上のように、住民・事業者・行政が一体となって循環型社会の実現に向け、取り組みを推進していきます。



その他の一般質問

★高田好子 議員

●不登校の児童生徒への支援について

★神崎静代 議員

●県道信貴山線の歩道の改善を

★久保安正 議員

●地震ブレイカー設置への補助金制度の創設を

●JＲ三郷駅前スーパーマーケット再誘致など身近で買物ができる町に

●新型コロナウイルス感染症や物価高などの影響に対する住民への支援策について

★南真紀 議員

●公共施設と小・中学校のトイレに生理用品の設置を

★澤美穂 議員

●ペットボトルの水平リサイクルの取り組みを。
●慢性腎臓病の認知度を上げる為と予防へのさらなる啓発活動を。

★先山哲子 議員

●〔家庭の〕飼い犬、猫へのマイクログリップ装着に補助金を「保育所、幼稚園の送迎バスについて」

★辰巳圭一 議員

●店舗型ふるさと納税の導入を。
●高齢者や地域の移動手段となる電動ゴルフカートの活用について。

★山田勝男 議員

●いわせが丘の遊歩道に併設のせせらぎ(小川)の回復について

★木谷慎一郎 議員

●(本会議を欠席したため、通告された一般質問は行いませんでした。)
●子どもの悩みをいち早く聞き取る手段として Chromebook活用を
●インクルーシブ遊具を取り入れた包摂の遊び場づくり



常任委員会の主な報告

- 総務建設常任委員会
▶開会日 令和4年12月8日(木) 午前9時30分～
- 文教厚生常任委員会
▶開会日 令和4年12月12日(月) 午前9時30分～

議案第46号

令和4年度三郷町一般会計補正予算(第7号)

(賛成多数原案可決)

Q FSS35スポーツパークについて

A FSS35キャンパス内に現在、整備を進めているテニスコートやバスケットコート、BMX・スケートボード及び屋内練習場を「スポーツパーク」と位置づけ、それらの施設の管理運営に関する条例を制定し、4月からオープンする予定です。

議案第61号

三郷町手数料条例について

(全会一致原案可決)

Q マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明書の手数料について

現在、住民票の写しや印鑑証明、税関係諸証明の窓口およびコンビニでの交付手数料は同額としていますが、マイナンバーカードの普及と窓口業務の効率化、また窓口での混雑による感染防止をはかるため、コンビニ手数料を1件10円とします。本年4月1日から1年間の期限を定め開始します。

議案第62号

三郷町子ども医療費助成条例の一部改正について

(全会一致原案可決)

子ども医療費助成の対象者を、現在中学生までとしているところ、4月より高校生(18歳になった日)以後の最初の3月31日(までに)拡大します。

なお、現物給付(助成対象の医療費について、窓口負担を求めないこと)の対象年齢拡大についても県・国保連合会・市町村とともに現在協議しています。

付託案件以外の質問

Q 静岡県内の保育園での虐待事件をうけ、町の対応は

A 国が示した未然防止や発生時の対応の手引き、チェックリストなどをもとに、虐待などの不適切な保育が行われないよう、また万が一発生した場合に早急に報告するよう各幼稚園・保育園に連絡しています。

その他の質問

Q 中学校の新しい制服について、また小学校の刷新はあるのか

A 現在は衣替えがあり、決まった制服を決まったタイミングで着用していますが、個々に着たい制服を選ぶようになりません。ジェンダーの観点からも着こなしを選べ、4月にむけ進め



ています。小学校についても、学校長と協議し、新しい制服を検討していきたいと考えます。

可決された意見書の概要

発議第5号

予防接種に関する記録の延長を求める意見書

(全会一致原案可決)

市町村長は、予防接種に関する記録を作成し、5年間の期限で予防接種台帳を保有していません。現在の保存期間では、大規模な追跡調査や疫学調査ができず、また、町で接種し、将来何らかの有害事象が生じた際、経過後には接種記録のデータが残っていないと考えられます。そして、医療訴訟で重要証拠である接種記録を提出できなくなることから、記録の延長を望む声が多く寄せられています。

町民の命を守り、将来に渡り責任を持つ考えやリスクマネジメントの側面からも、接種記録を5年以上保管するよう国に求める意見書が可決されました。

発議第6号

第9期の介護保険制度改定に向け安心できる介護保険制度を求める意見書

(全会一致修正可決)

政府は、介護保険法改正法を成立させようとしています。その内容は利用者の大きな負担増とサービスの利用制限につながるもので、容認できません。

誰もが安心して介護保険制度を利用できるよう、次の事項について要望します。

- 1.さまざまな経済状況等に鑑み、介護保険サービス利用料については、負担増を行わず、原則1割負担を維持すること
- 2.介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院の多床室相部屋室料負担を新設しないこと

以上について国に求める意見書が可決されました。



議会のうごき

12月

- 7日 第4回定例会本会議
- 8日 総務建設常任委員会
- 9日 上下水道特別委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 14日 全員協議会・本会議
- 19日 老人福祉施設三室園組合議会
- 王寺周辺広域休日応急診療施設組合議会
- 生駒郡町村議会議長会
- 22日 例月現金出納検査

1月

- 7日 三郷町消防団出初式
- 8日 はたちのついで
- 12日 奈良県町村議会議長会議員研修
- 13日 生駒南支部連合出初式
- 16日 全員協議会
- 18～19日 定期監査
- 19～20日 奈良県町村議会議長会
- 議長県外視察研修
- 26日 例月現金出納検査



信貴山下駅前のイルミネーション

令和4年第4回(10月)三郷町議会臨時会 10月25日(火)

	議 案	審 議 結 果
承認第9号	令和4年度三郷町一般会計補正予算(第5号)の専決処分について	全会一致原案承認
議案第43号	令和4年度三郷町一般会計補正予算(第6号)	全会一致原案可決
議案第44号	令和4年度三郷町水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第45号	三郷町勢野東地区惣持寺第二樋門設置工事受託契約の締結について	全会一致原案可決

令和4年第4回(12月)三郷町議会定例会 12月7日(水)~12月14日(水)

	議 案	審 議 結 果
議案第46号	令和4年度三郷町一般会計補正予算(第7号)	賛成多数原案可決
議案第47号	令和4年度三郷町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第48号	令和4年度三郷町介護保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第49号	令和4年度三郷町下水道事業会計補正予算(第1号)	全会一致原案可決
議案第50号	令和4年度三郷町水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致原案可決
議案第51号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第52号	三郷町スポーツ振興基金条例の制定について	全会一致原案可決
議案第53号	FSS35スポーツパークの設置及び管理に関する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第54号	三郷町サテライトオフィス条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第55号	職員の定年等に関する条例等の一部改正について	全会一致原案可決
議案第56号	三郷町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第57号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第58号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第59号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第60号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第61号	三郷町手数料条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第62号	三郷町子ども医療費助成条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第63号	三郷町スポーツセンター及び三郷町ウォーターパークの指定管理者の指定について	全会一致原案可決
報告第15号	寄附の受け入れについて	報告受理
発議第5号	予防接種に関する記録の延長を求める意見書	全会一致原案可決
発議第6号	第9期の介護保険制度改定に向け安心できる介護保険制度を求める意見書	全会一致修正可決
発議第7号	三郷町議会の議員の定数条例の一部改正について	賛成多数原案可決
決議第3号	三郷町議会の改革・活性化の推進に関する決議	全会一致原案可決

編集後記

新しい年が明け、早一ヶ月が経ちましたが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

町民のみなさんから、「議員が何をしているのか分からない」という声があるというところで、昨年6月から議会改革について議論を重ねてきました。

まず、「すぐ」できることとして「議会だより」は、来年度からページ数も増やし、中身の充実を図ります。また最近では、議会の様子をインターネット配信するところが増えており、三郷町でも実施し、議会に関心を持っていただきたいと考えています。

その他にも「議会基本条例」の策定など、先進地の事例を参考に改革を進め、議員の活動を知っていただきたいと願っています。

(神崎 静代)

